

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 観客参加型双方向ライブビューイングシステム "マインドシェア" の設計   |
| Sub Title        | The design of "Mindshare" : interactive live viewing system for bi-directional participatory audiences  |
| Author           | 春口, 亮太(Haruguchi, Ryota)<br>太田, 直久(Ota, Naohisa)  |
| Publisher        | 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科  |
| Publication year | 2012  |
| Jtitle           |   |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         | 本研究は、大型スクリーンを介した遠隔パネルディスカッションにおける、観客が討論へ参加するためのコミュニケーション・システム「マインドシェア」の設計を行った。マインドシェアは、観客からの意見や気持ちを可視化し、それら情報を大型スクリーンの映像に対しオーバーレイ表示させることで、会場内での情報共有を図り、登壇者がリアルタイムにそれら情報をコンテンツへ反映できるシステムである。現在、デジタルコンテンツを用いた新しい映画館の活用法としてODS(Other Digital Stuff = 非映画コンテンツ)が率先的に取り組まれている。それら事業の一貫として、イベント等の中継映像を大型スクリーンで鑑賞するライブビューイングがあるが、あくまで映像の視聴を目的としており、会場内でのコミュニケーション形成には至っていない。本研究では、第25回東京国際映画祭の公式プログラム、4K双方向ライブビューイングによる遠隔パネルディスカッションにおいて、マインドシェアの評価実験を行った。この実験を通し、本来は第3者の立場である観客が、登壇者同士の討論に間接的に参加し、さらには討論の内容に影響を与えたことが考察できた。本研究では、観客が討論へ参加するためのシステムとして、マインドシェアが有効であったことを述べる。 |
| Notes            | 修士学位論文. 2012年度メディアデザイン学 第248号   |
| Genre            | Thesis or Dissertation  |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0248">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0248</a>   |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2012年度（平成24年度）

観客参加型双方向ライブビューイングシステム  
“ マインドシェア ”の設計

慶應義塾大学大学院  
メディアデザイン研究科

春口 亮太

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に  
修士(メディアデザイン学)授与の要件として提出した修士論文である。

春口 亮太

審査委員：

太田 直久 教授 (主査)

徳久 悟 特任講師 (副査)

石倉 洋子 教授 (副査)

修士論文 2012年度（平成24年度）

# 観客参加型双方向ライブビューイングシステム “ マインドシェア ” の設計

## 論文要旨

本研究は、大型スクリーンを介した遠隔パネルディスカッションにおける、観客が討論へ参加するためのコミュニケーション・システム「マインドシェア」の設計を行った。マインドシェアは、観客からの意見や気持ちを可視化し、それら情報を大型スクリーンの映像に対しオーバーレイ表示させることで、会場内での情報共有を図り、登壇者がリアルタイムにそれら情報をコンテンツへ反映できるシステムである。現在、デジタルコンテンツを用いた新しい映画館の活用法として ODS（Other Digital Stuff = 非映画コンテンツ）が率先的に取り組まれている。それら事業の一貫として、イベント等の中継映像を大型スクリーンで鑑賞するライブビューイングがあるが、あくまで映像の視聴を目的としており、会場内でのコミュニケーション形成には至っていない。本研究では、第25回東京国際映画祭の公式プログラム、4K双方向ライブビューイングによる遠隔パネルディスカッションにおいて、マインドシェアの評価実験を行った。この実験を通し、本来は第三者の立場である観客が、登壇者同士の討論に間接的に参加し、さらには討論の内容に影響を与えたことが考察できた。本研究では、観客が討論へ参加するためのシステムとして、マインドシェアが有効であったことを述べる。

キーワード：

マインドシェア, ODS, ライブビューイング, コミュニケーション, 4K

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

春口 亮太

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2012

# The Design of “ Mindshare ”-Interactive Live Viewing System for Bi-Directional Participatory Audiences

## Summary

This paper describes the design of “ Mindshare ”. Mindshare is a system for audience participation in a conference by using a large screen. Opinions and feelings of audiences are visualized by using the system, and its information is overlaid on to a large screen. Therefore, panelists of a conference and the audience can all share opinions and feelings of each other. Recently, Other Digital Stuff has become a hot topic around in the world. The new business aims a new use of theaters for digital contents, and one of them is live viewing. Live viewing is live streaming of events on a large screen, where many people can watch at the same time. However, it does not lead to communication between people. In this research, Mindshare was used in a 4K interactive live viewing of a remote panel discussion, an official program of the 25th Tokyo International Film Festival, as an evaluation experiment. Through this experiment, the efficiency of Mindshare as a tool for the audience to participate in the discussion was proved.

## Keywords:

Mindshare, ODS, Live Viewing, Communication, 4K

Graduate School of Media Design, Keio University

Ryota Haruguchi